

安全・安心なまちへ

こうほう

みやのさわ

防災特別号 第1号

宮の沢町内会の防災活動 宮の沢町内会ハザードマップ

一斉通信システムRAIDEN

自主防災委員会
スタッフ募集!



7シと一緒に
宮の沢町内会の
防災を学ぼう

◆ 宮の沢町内会の現況 ◆

ここ数年、従来の想定をはるかに超える大地震やゲリラ豪雨などが日本各地で発生し甚大な被害が出ています。特に高齢者や要配慮者への対応が求められ犠牲者を出さない町づくりを急がなくてはなりません。

宮の沢地区は、山際に位置する地域(4区)や宮の沢川流域(5区)が特に危険と隣り合わせの状況にあります。

このような状況の中であって、平成29年度から重点地区の地域住民を対象にして、避難対応の

手順を学び、平成30年、令和元年と避難訓練を実施してきました。令和2年度は、地域全域からの要望が強かった対象地区を全区域に拡大し、あらゆる災害に対応するために自主防災委員会を設立して現在に至っています。

今春には、先進的な一斉通信システムを採用し、要配慮者と支援協力者の総登録先約500件に対して、緊急連絡網を構築しました。

今後も登録先を拡大し災害時に犠牲者が発生しない町づくりを進めます。



宮の沢町内会ホームページ <http://miyanosawa-c.sakura.ne.jp>

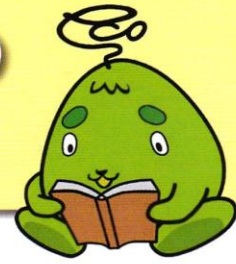
ブックマーク、登録、いいね♡をお願いします

<https://www.facebook.com/miyanosawa.chounaikai>

宮の沢町内会フェイスブック



まず知ろう！ 宮の沢地区の そこにある危機



宮の沢町内会は、住民約2,500世帯のうち1,633世帯が加入している西区西町連合町内会第3位の規模の町内会です。当地域は手稲山のすそ野に位置し、宮の沢川、上追分川、上富丘川、中の川の急流小河川に囲まれ、バブル末期に山の斜面を削って造成した住宅団地が多く、北海道で指定した土砂災害危険地域が当地域内にあることから住民の

危機意識の高い地域です。

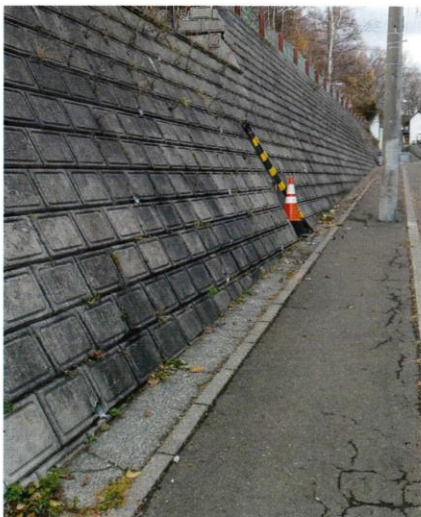
私共の防災活動は、平成28年11月より土砂災害に特化した活動を展開してきており、現在の警戒レベル3に達した場合、高齢者の避難準備開始とともに地域内で最も支援を必要としている高齢者や障がい者を支援協力者の所有する車両で避難誘導を行うための活動です。

宮の沢町内会には山を削って造成した土地に住宅が多く建築され、道が指定した急傾斜地と土石流の「土砂災害警戒区域」が集中しています。

● 土砂災害警戒地域



● 急傾斜地





宮の沢町内会のこれまでの 防災活動の取り組み

平成28年11月19日 町内会役員を対象にしたDIG(災害図上訓練)・HUG(避難所運営ゲーム)研修

28年12月19日 防災重点区4区を対象にしたDIG・HUG研修

29年 1月～3月 全世帯1,750件にアンケート調査実施(回収812件)

宮の沢町内会ホームページ開設

29年 4月～6月 個人情報入力データベース構築

メールアドレス登録作業

29年 7月15日 特別養護老人ホーム手稲リハビリテーションセンターと
「災害時相互協力協定」を締結

29年 9月 1日 上富丘川下流域に対して土砂災害警戒区域の追加指定

29年10月21日 町内会全役員防災会議

29年12月10日 重点区4区を対象に避難手順説明会開催

30年 6月27日 宮の丘中学校避難訓練に招請され防災講話実施

30年 6月30日 全区を対象に「避難手順説明会」を開催

30年10月13日 最重点区4区を対象とした初の避難訓練実施

30年11月 地域内で事業展開している医療と介護事業者と、
地域包括支援センター、介護予防センターなど9社と
宮の沢町内会による「医療と介護の連絡協議会」を設立

31年 1月15日 札幌市防災表彰を受賞

31年 2月 1日 **医療と介護の町づくり通信** 創刊号発行



平成28年12月17日 防災研修会



平成29年3月22日
アンケート調査個別訪問



平成30年10月13日
土砂災害避難訓練

令和元年 8月25日 重点区を拡大し4区と5区、7区合同の避難手順説明会開催

元年 9月30日 災害時対応のために発電機購入(出力1,800W)

元年10月12日 上記区域を対象とした第2回避難訓練実施(この時の訓練から手稲リハビリテーションセンターに2名を搬送)

元年11月 6日 **一斉通信RAIDEN**のシステム提供会社からシステムの説明を受ける

2年 5月16日 **自主防災委員会**設立議案承認となり委員長に菅原由紀彦が就任する

2年 6月7～12日 自主防災組織連携促進支援事業の連携促進のため下記団体責任者と面談
(札幌市西区消防団、社会福祉法人宏友会、社会福祉法人愛敬園)



令和元年10月12日
避難訓練



宮の沢町内会ハザードマップ(土砂災害避難地図)



宮の沢町内会の概要

創立 昭和39年
 人口 約5,000人
 世帯数 約2,500世帯
 会員数 1,676世帯(令和2年10月末現在)
 会長 渡邊 一彦

地名の由来 明治5年(1872年)旧仙台藩の武士たち47戸が集団移住、中の川の沢地の一角に小祠(後の上手稲神社)を祭ったことに由来すると伝わる。

宮の沢地区のなりたち(手稲山は地滑りでできた山)

標高1,024mの手稲山は昔は火山で、巨大な地滑りと溶岩流で形成された山です。山頂の南斜面は柱状節理の崖。ロープウェイで登ると見られる崖は滑落崖で、7万5千万年前の巨大地滑りによるものです。また北東側のテイネオリンピアやゴルフ場の周辺は「岩屑なだれ」がたまった場所。大きなブロック状で山がずり落ち、崩れて行って流れつき大量にたまったところ。宮の沢地区は手稲山系の斜面にあたり、しかも数本の川が入り組んでいます。このことから土砂災害に普段から備えることは、重要なことと考えられます。

凡例

宮の沢町内会 境界線	西区指定避難所
避難経路 (国道・市道)	<急傾斜地> 土砂災害警戒区域
公園	<土石流> 土砂災害警戒区域

宮の沢町内会の防災組織

宮の沢町内会自主防災委員会が防災活動を進めていきます

宮の沢町内会 自主防災委員会組織図



しかし… まだまだ改善点・課題があります。

- 役員・支援協力者(サポートスタッフ)の高齢化
- 災害時の支援協力者の絶対的不足
- 若いお父さん、お母さん世代への呼びかけ不足



宮の沢町内会の防災活動の基盤は整いました

今度は、あなたの出番です! 参加をお待ちしています

一斉通信システムRAIDENの導入へ

災害時における携帯電話、固定電話、電子メール、FAXへの一斉配信システム

宮の沢町内会では、令和元年11月に(株)アルカディア社製の合成音声による一斉配信システム、音声合成ソフト SpeeCAN RAIDEN (スピーキャンライデン) を導入しました。これは、町内会としては道内初の取り組みであり、札幌市が採用している一斉通信システムと同じシステムです。

○一斉通信…携帯電話・固定電話への合成音声による配信。電子メール、FAXによる配信。

アンケート機能付加 …… SpeeCAN RAIDEN (スピーキャンライデン)

■一斉通信の流れ



■一斉通信RAIDEN登録件数

令和2年5月31日現在

区分・条丁目	登録件数	携帯電話	固定電話	電子メール	FAX	合計
四 役	6	6	4	5	7	22
役 員	19	14	7	19	15	55
サポートスタッフ	31	21	6	22	23	72
(小 計)	(56)	(41)	(17)	(46)	(45)	(149)
1区 2条3丁目	17	9	8	10	7	34
1区 2条4丁目	23	16	6	3	9	34
1区 2条5丁目	5	3	4	1	0	8
5区 3条3丁目	87	65	35	55	37	192
3区 3条4丁目	78	41	29	30	33	133
2区 3条5丁目						216
6区 3条5丁目	127	72	53	42	49	0
4区 4条4丁目	41	24	9	16	26	75
4区7区 4条5丁目	119	77	47	63	51	238
(小 計)	(497)	(307)	(191)	(220)	(212)	(930)
合 計	553	348	208	266	257	1,079

要配慮者のための「支援協力者」がまだまだ不足しています

宮の沢を守れるのはあなた! です

宮の沢町内会では、自主防災委員会のスタッフを募集中です!
あなたにできることがきっとある、あなたを待っている人がいます。
地元を知れば、街が、宮の沢が、もっと好きになる♪



防災説明会の様子



まずは町内会のホームページを見てみよう



行事・イベントは出かけてみよう



Facebookをフォローしてみよう!



こうほう みやのさわ 第2号予告

町内会と介護事業所との連携・協力
宮の沢町内会の広報活動って?
宮の沢町内会の防災活動は凄いぞ!!
自主防災委員のスタッフになるには?!

令和3年1月25日発行予定

宮の沢町内会 今後の取組予定

- ◆ 令和3年2月21日(日)
感染症対策を伴う避難訓練
(会場は手稲宮丘小学校を予定)
- ◆ 令和3年10月
防災親子キャンプ
(会場は手稲宮丘小学校を予定)

発行：宮の沢町内会
札幌市西区宮の沢2条5丁目1-28
作成：宮の沢町内会自主防災委員会
発行日：令和2年12月

※お問い合わせ・ご要望は、宮の沢町内会自主防災委員会まで
jimu@miyanosawa-chounaikai.com

※ この冊子は消防庁「自主防災組織等連携促進事業」の補助金で作られています。